桑田佳祐さんからの評価

町長　音楽活動の中などで、憧れの人、この人が目標だという人がいますか。

馬場　音楽では、サザンオールスターズが好きです。中学のときには、ファンクラブに入っていました。桑田佳祐さんは、私にとっては偉大な人で、尊敬であり、憧れです。うれしいエピソードとして、自分の人生で本当に報われたと思う瞬間があったんです。桑田さんのラジオ番組で、その年のミュージシャンをランキング付けするコーナーがありまして、桑田さんがいいと思った曲を1位から10位まで選んでもらう。毎年そうそうたる人が選ばれていて、ミュージシャンも桑田さんのことを尊敬しているので、曲が売れる、売れないに関係なく、選ばれることに誇り、ステータスを感じるランキングです。その2012年の番組の中で1位に選ばれたのが、僕の『平凡』という曲でした。

町長　それはすごい。2位、3位と1位の差はとても大きい。

馬場　そうなんです。「大変です！馬場さんの『平凡』という曲を、桑田さんが2012年の1位に選びました」と知り合いから連絡が来ました。録画録音したものを聴いて**「1位は…馬場俊英さん、『平凡』！」と。桑田さんはそのとき「才能を感じるね」**と言ったんです。もう、自分が世に出した最初のレコードを買ったとき以来の衝撃が走りました。

町長　すごいじゃないですか。

馬場　それはもう、忘れられない出来事です。キャリアの中でも、セールスと関係ないのですが、自分の中で感動的な瞬間でした。

町長　逆に今この立場になって、馬場君が注目している人物はいますか。

馬場　面白いなと思ったのは、この間のサッカーワールドカップ。今の若い選手は、自分が前に出ていこうという姿勢や、試合後のコメントも落ち着いていると感じました。時代が変わったと。僕らはあの頃の年齢で外国人と対峙（たいじ）したら上がってしまうけれども、彼らは同じ舞台で力を発揮して、もっと先へという姿勢で見ている、それはすごいなと思います。僕らも頑張りたいというか、元気をもらえますね。

　また、オリンピックのスピードスケートで金メダルを取った高木美帆さん。あの人もすごいと思います。研ぎ澄まされて、まっすぐ勝つことしか見ていない、テレビで様子を見るだけですが、その姿がすごくかっこいいと思います。

音楽を通しての昭和～平成～令和

町長　音楽の世界を通して、昭和・平成・令和と、何がどう変わったと感じますか。

馬場　昭和の時代は、世に紹介されていない、原石みたいな曲がどんどん日本に入ってきました。「アメリカで流行っている音楽はこれです」と紹介するだけでも意味があり、例えばジャズというジャンルがあるよと、すごいなと。

　昭和の時代でほぼ紹介し終わると、平成の時代は曲をそのまま歌う、演奏するだけではなく、さまざまな形やタイミングで世に出すという、演出が大事になってきました。ロックを若い女の子が歌い、アレンジを加える、そのように音楽の世界が変化したと思います。

町長　令和になってまだ5年目ですが、どうですか。

馬場　今まで音楽の世界では、体系的なものや順番を大事にしてきました。例えばミュージックビデオの制作を僕らがやろうとすると、打ち合わせをして、衣装を決めて、スタジオで撮影して編集するという流れを想定しますが、今のミュージシャンは、スマホで撮って、それで完成です。

令和の時代は、音楽というものをアートのように作っていく。昭和の時代はこのようにやっていたよね、平成の時代はいろんな組織が必要で、今思えばお金を回すためにやっていたという流れが僕たちの頭の中で最後まで残っていて、そこを踏襲しないと駄目というような気持ちがありましたが、**今は体系的なものや順番は別になくてもいいよねという時代だと感じています。**

夢をカタチに

町長　馬場君は、まさに学生の頃からの思いをカタチにして世の中に出ていると思います。この夢をカタチにできた一番の原動力は何だと思いますか。

馬場　多分、夢をカタチにしてもそれをまだ続けていくという、何段階かロケットが必要だと思うんです。スポーツ選手から話を聞いてみると、自分一人で頑張るだけだと、ある程度までだと。

　例えば、駅伝。チームでやっていて、前の選手が本当に死に物狂いで頑張ってきたものを預かって、自分の登場を切望している、待ち焦がれている人がいれば、そこまで頑張りたいと思うので、自分が勝手にスタートからゴールまで走っていくだけのものとは全く違うと思います。

　人間は、引き受けたという責任感と、期待に応えたいという気持ちがあると、もう頑張れないというところから、プラスアルファのパワーが出ます。**そのプラスアルファのパワーを出すためには、自分が届ける先は何かということを明確にイメージできるかどうか**、自分がたどり着くべき場所があって、それを待っている人がいるということを描けるかどうかが重要で、両方を明確に捉える感受性があれば、夢をカタチにできると考えています。

　応援してくれる方が「馬場俊英のファンです」と言って胸を張れるような、ちょっと鼻高く居られるような存在でいたい、というのがこれからの目標ですね。

町長　最後に、馬場君にとって寄居町はどんな町ですか。

馬場　子どもの頃は、どこよりも一番いい場所、自慢の町で、寄居町に生まれ育って誇らしく思っていました。それは家族とか、小・中学校が楽しかったとか、周りがそう思わせてくれていたのだと思います。今、東京に住んでいるけれど、**ふるさとは今でも自慢の町ですね。**

町長　最後に何よりもうれしい一言をいただきました。本日はありがとうございました。

その他、このような話もありました。

町長対談 Another Episode（動画）

新たなスタート地点、Yotteco（ヨッテコ）前で

プレミアム率 30%

寄居町地域通貨Yori-Ca(ヨリカ)
プレミアムチャージキャンペーン

ヨリカは寄居町が発行する独自の地域通貨で、１ポイント＝１円でお買い物ができ、町内のヨリカ取扱店で利用できます。今回、継続的な物価高騰に対し、消費の喚起や経済を活性化させるため、プレミアム率30％のプレミアムチャージキャンペーンを実施します。

問 商工観光課（☎581・2121内線453）

▶キャンペーン期間

2月**15**日㈬～**3**月**15**日㈬

※予算額に達した時点で終了となります。

▶内容

1,000円のチャージで**300**プレミアムポイント付与

（付与上限：1人当たり**6,000**プレミアムポイント）

※上限額(20,000円)まで複数回に分けてチャージをした場合でも、プレミアムポイントは付与されます。

※カードタイプの場合、キャンペーン期間中、チャージはプレミアムチャージ(チャージは上限額(20,000円)まで)のみに限られ、通常チャージ(プレミアムポイントなし)はできません。

▶プレミアムポイント利用期間

ポイント付与日から**3**月**31**日㈮まで

※利用期間が終了すると、キャンペーンによって付与されたプレミアムポイントは失効します。

※チャージした分のポイントの利用期間は、最終チャージ日から2年間です。

ご利用はお早めに！

-1周年記念キャンペーン還元ポイント-

11月1日から12月25日に実施したヨリカ１周年記念キャンペーンで、ヨリカ取扱店1店舗当たり合計1,000円以上の買い物で10店舗以上利用された方に還元したポイントの有効期限は、2月28日㈫までです。お早めにご利用ください。

※ポイント還元対象者は、町公式ホームページで会員コードを掲載しています。

※ポイント利用時は有効期限の近いものから優先的に使われます。

※最新のヨリカ取扱店やチャージ方法等は、町公式ホームページをご確認ください。

町公式ホームページ